

「産産学ビジネスマッチングフェア with 大阪大学」は、1999年から始まり、今回で16回目を迎えました。これまで会場は千里で開催されてきましたが、今回初めてマイドーム大阪の2階3階展示場を会場として、11/11～12の2日間の会期で行われました。「大阪経済に元気をもたらす中小企業が集結!!」と銘打って、出展企業・機関は、北大阪を中心とした、ものづくりを行う中小企業および大学・支援機関で、約160社を数えました。

ATACは2003年から毎回出展していますが、今回もブースを設定し、パネルやポスター、並びにATAC出版物の展示を行いました。特に、今回は最近取り組んでいる4つのテーマ、「究極の作業改善技術RWF」「ATACのデータサイエンス」「利益を生み出す！省エネ節電」「オーダーメイド出前研修」のポスター展示を行い、ATAC活動の中でも広く親んでもらいたい技術の一端を披露いたしました。

フェア全体では来場者は6116名で、ATACブースでは、来訪者の内、35人と名刺交換を致しました。今後コンタクトを継続する件数は14件もあり、コンサルティングにつなげて支援したいと考えています。

産産学ビジネスマッチングフェアは、公開の場でひろくATAC活動を披露し、多くの企業の方々の声を聴くことができる貴重な交流の場です。このフェアを通して、ATACの「常に現場、現物、現実主義」をモットーに、多くの企業のお役に立てることをアピールできればと願っております。ご来場の皆様のご貴重なご意見ご要望をお寄せ頂いたことに、深く感謝申し上げます。  
(野村記)

